

入学時期:	4月生	学科:	教養重点科	コース:	1年	クラス	A(教養)
科目名:	<b>経済・社会・時事</b>					年次:	<b>1年次</b>
担当者:	山口 哲夫	単位:	3単位	授業時間:	45時間		

## ■授業概要・方法等

経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して学習する。また，現代の日本社会が抱える諸問題について，諸資料から課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けることができるように学習する。

## ■学習・教育目標及び到達目標

学生が，この授業を履修することによって

- (1)市場メカニズムについて説明する
- (2)日本経済の景気変動について説明する
- (3)現代社会における諸問題について説明する ことができるようになる。

ひいては，高卒程度公務員試験に出題される経済・社会・時事の平均的な問題に対応できる知識習得ができるようになる。

## ■成績評価方法および基準

- ・定期試験 70%
- ・授業への取り組み 30%

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

## ■教科書

- 『初級経済テキスト』(本校独自)
- 『初級社会・時事テキスト』(本校独自)
- 『初級経済過去問』(本校独自)
- 『初級社会・時事過去問』(本校独自)
- 『初級経済過去問解答』(本校独自)
- 『初級社会・時事過去問解答』(本校独自)

## ■授業計画の内容

### 時間割上の科目名:【経・社】

時 数	内 容
1 ~ 2	経済 第1編 経済と企業
3 ~ 4	第2編 現代の市場
5 ~ 7	第3編 国民所得と景気循環
8 ~ 9	第4編 金融と金融政策
10 ~ 12	第5編 財政と財政政策
13 ~	第6編 貿易と国際収支
14 ~	第7編 外国為替
15 ~ 16	第8編 日本経済の発展
17 ~	第9編 国際経済体制
18 ~	第10編 経済学史
19 ~	社会 第1編 現代の社会生活と青年
20 ~ 21	第2編 労働問題
22 ~ 23	第3編 社会保障
24 ~	第4編 高齢化・人口問題
25 ~ 26	第5編 環境資源問題
27 ~	(同和) 第1編 同和问题
28 ~ 45	過去問演習等

## ■履修にあたっての注意事項

28時間目までは、授業中に演習問題等を解く時間はないため、授業で進んだ範囲の過去問は各自で進めておくこと。

## ■その他

特になし。